

## 2021年全日本卓球選手権大会マスターズの部及び団体の部大会要項について

標記について、大会検討プロジェクトチームでそれぞれの大会の検討会議を行いました。

三密を避け、換気を行い、体育館からの入館制限等を踏まえ検討しました。その結果、下記の通り理事会にて承認されましたのでご報告いたします。

2021年全日本卓球選手権大会(マスターズの部) (10月8~10日 / 福島県)		
1. 郡山市総合体育館（観覧席数：2,556席） 体育館入館制限：現在制限はないが、観覧席の半数を上限として検討した。		
	現大会要項等で検討を要する事項	大会要項等変更事項(太字ゴシック体)
1	試合方法：①トーナメント戦 ②1マッチ：5ゲームマッチ	(試合方法①②は変更しない)
2	参加数	<p>①都道府県の参加数を下記の通り削減等を行う。</p> <p>1) 都道府県参加枠削減 5名 → 3名、4名 → 2名、3名 → 2名、2名と1名 → 1名 (約半減)</p> <p>2) 80歳以上の無制限出場はなくし、各都道府県の参加枠とする。</p> <p>(参考：①の枠最大参加数：65名×18種目＝1,170名(各県フル参加) + 推薦選手144名、合計1,314名)</p>
3	観客・帯同者：制限なし	<p>無観客とする。</p> <p>①帯同者が必要な場合は、選手1名に1名のみ申請により認める。 (帯同者名簿を参加申込時に本会に提出)</p> <p>②当日試合のない選手は入館できない。</p>
6	開会式等のセレモニー	開会式等のセレモニーは規模縮小等を主管地で検討する。
7	チェンジエンド	チェンジエンドは準決勝からとする。
8	練習について	<p>①練習会場は設けない。</p> <p>②前日練習・試合当日の朝の練習時間は設けない。</p>
9	加盟団体への招待状	加盟団体への招待状は出さない

**2021 年全日本卓球選手権大会(団体の部) (10月15～17日 / 栃木県)**

1. TKC いちごアリーナ(鹿沼総合体育館) (観覧席数：1,492 席)

体育館内入館可能人数：メインフロア 150 名、サブフロア 75 名、観覧席 750 名

	現大会要項等検討を要する事項	大会要項等変更事項(ゴシック太文字)
1	<p>試合方法等</p> <p>①団体戦方式：世界選手権の団体戦方式を採用し、3 点先取で勝敗を決する。 (国体と同じ)</p> <p>②第 1 ステージ(リーグ戦)・第 2 ステージ(決勝トーナメント)</p> <p>③1 マッチ：5 ゲーム</p>	<p>(試合方法等①②③とも変更しない)</p> <p><b>※換気の時間等は、タイムテーブルで対応する。</b></p>
2	<p>チーム編成：監督 1 名、コーチ 1 名、選手 3～5 名で編成する。</p>	<p><b>チーム編成：監督 1 名、選手 3～5 名で編成する。</b></p> <p>※メインフロアに選手・監督 96 名、役員・審判員 100 名程で合計 200 名程になるのでフロアの人数削減の為、審判員待機場所を観覧席に設ける。</p>
3	<p>参加数(男女各 12 チーム)</p>	<p>(変更しない)</p>
4	<p>観客・帯同者制限なし</p>	<p>① <b>無観客とする予定。</b> 但し、入館制限に基づき、地元の関係者等については国体実行委員会と主管地で調整する。</p> <p>② <b>参加チーム帯同者は、5 名まで申請により観覧席に入館できる。(練習会場不可)</b> (参加申込時または 9 月末日までに名簿を本会に提出すること)</p>
5	<p>チェンジエンド</p>	<p><b>チェンジエンドは準決勝からとする。</b></p>
6	<p>開会式等のセレモニー</p>	<p><b>開会式等のセレモニーは、時間短縮等を国体実行委員会と主管地で協議する。</b></p>
7	<p>監督会議</p>	<p><b>監督会議：密を避けて開催する。</b> (監督 24 名+役員が参加)</p>
8	<p>練習について</p>	<p><b>前日練習・試合当日の練習は、チーム別に割り当てをする。</b></p>
9	<p>加盟団体への招待状</p>	<p><b>加盟団体への招待状は出さない。</b></p>

以上